

来信処理票

経済協力局 経済協力第2課

件名	ガンセンター新設に対する援助要請	経 発 第 1587号
		昭和 47年 5月 9日付

省内 回覧	経済協力局長	<i>[Signature]</i>
	参事官	
	政策課長	<i>[Signature]</i>
	技術協力一課長	<i>[Signature]</i>
	北東アジア課長	<i>[Signature]</i>
	技術協力二課長	<i>[Signature]</i>
	参事官	<i>[Signature]</i>
	経済協力二課長	<i>[Signature]</i>

課内 回覧	首席	伊藤 水塚	首長						
		<i>[Signature]</i>	<i>[Signature]</i>						
要旨 及 び コ メ ン ト	<p>1. 韓国政府から1972.4.19付口尺書をもって正式に援助方 要請があった。</p> <p>2. 援助要請額は3,585,881ドル(約11億0445万円)で その背景は、国務総理の要望という政治的要素であり、 韓国側は、とくに援助方要請越したソウル工科大学に対する 奨励料援助と同等のプライオリティをもって考慮を希望している。</p> <p>3. 現地大使は、既にわが国の援助によって設備が充実されている 延世大学のガンセンターと重複することであり、ソウル工科大学に 対する援助にプライオリティをおくことを要望している。</p> <p>大使の判断によることか、適当と思われず、本件申請と 併せて一応検討の対象となるが、検討の優先度は低 いものと思われる。少くとも年度計画に入れることは望ま ない旨を先方に通報を訓令する(1511)(加付)</p>								

写 配 布	指定	大蔵	通産	農林	経企	建設	運輸	厚生	基金						
	部数 月日	1	2												
												回覧番号 経協2 112			

経協局
7.5.12
協2

秘密指定解除
公文書監理室

秘密標記(赤色)



経済協力二課長

() 経第 1587 号
昭和 47年5月9日

外務大臣 殿

大韓民國
後宮大使

(件名)

カンセンの一新設に付する
援助要請

引用公・電信
日付・番号

1. 韓国政府から4月19日付
口上書と以て、カンセンの
新設に關し、日本政府から
3,585,881ドル相当の医療

付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

本信送付先:
本信写送付先:
省内写配布希望先:

0554

経協局
47.5.12
経協2

47.5.11

秘

残材供与要請があつた。

(口上書字及α文教部及α

ソウル大学病院共同で作成

した調査 Supporting Application
(4部译訂)

for The Cancer Center Building
Construction 参照)

又、本件がニセターにフして韓国

側事務当局より聴取したレニ

3次の通りである。

(1) 保健社会部保健局長

本件セターは文教部高等教

育局長が斗管して居り、保健

局長も最近交替したばかりで

あるため詳細承知して居ら

いと答えた。

秘

3

(2) 文教部高等教育局長

本件がニセの一は国務總理
の指示により外務部が中心
となり、保健社会部、文教部
科学技術庁及び経済企画院
の担当官が会合した結果文
教部が主管庁とされたため
本件がニセの一の担当と~~なりました~~
関係庁と協議を重ねた結果
4月3日外務印で会談の席上
日本に対し要請を行うことに
踏切つたものである。

本件がニセの一は、^(がニセ)研究とその
調査を行う目的で設立するた
のである。



(延世大学に設置とされている、我国の協力によるガンセンターとの関係について) 延世大学ガンセンターは専門家^のの立場で専門的な研究を行うには不十分であり、^{設置計画中の}本件ガンセンターは、日本の東大ガンセンターの^理模のものとすることを考えている。

日本の援助開始時期は、日本政府の予算の制約もあることであり、例えは現在進行中の金島工高プロジェクトの終了する頃より開始出来るよう取り上げてもらうというだろうか。



5

(3) 外務部経済協力担当官^(書記)

外務部としては、国務総
理の指示もあり、ソウル工
大に対する援助と同等のプ
ランブリッジを以つて、本件が
ンセナー援助を考慮願
たいと考へてゐる。

韓国政府部内では、本件
ガニセナー設置のための内
費手当及び運営(ソウル
大学付属機関とするか、或
は独立の機関とするか等)
について5月中には経済
企画院が中心となつて
関係庁との間に検討が

秘

6

行われる平等となつてゐる。

从、以上の事情を案ずるに、本件
ガンセンター設置計画の~~背景は~~
~~背景は~~金国務総理の
要望と言う政治的~~な~~
~~な~~ものであるが、他面ガン
センターの必要性は別の角度
から検討すべき問題である。
よつて、当館としても医学的
見地より、本件の如きガンセン
ターが必要なものかを判断
するため民間の医療関係者
等の見解をも聴^取る等調査
の結果、本便としては次の



7

通り考へる。

(1) 当地には既にわが国

の援助によりその設備が
(援助総額約1億44万円に及び)
充實されつつある延世大学

ガンセンターがあり既存の

コバルト60照射施設のみ

でも1日約40乃至50名の

治療が可能である上、近

くリニアックの設置が完成

すればその治療能力は
1日約80名でありコバルトと合せて約130名
~~に及ぶ~~に及ぶと見込である。

従つてガンセンターを更

に作つても、健康保険制

度のない当国において、

高い治療費の負担能力あ

秘密指定解除

公文書監理室



8

るものしか利用出来ない
現状では、~~悪~~ 悪質な重
複とならざるを得ないと思
わゆる。

(因に、延世大学がセクター
におけるがん患者のコバル
ト60による照射治療は、昨
年終半は1日約50乃至55名
を数えたが、最近は不景気を
反映してか日に35名乃至40
名に減じている由である。)



(2) 治療面はさておき、研究
面^{(1) = 2112}は、ガン研究が先進
国でも十分^完められて
おらず、米国では、アポロ
計画の^{組織工学}計算方式を応用
して今後10年間にガン
征服を期してゐると聞及
んでゐる。^{本件ガンセンターにて}韓国政府要請
の気持は十分理解し得る
が、ガン研究は全世界人
類に共通する問題である事
を考へれば、先進国の研究
成果を利用させよう方が
経費節約となるのみで
なく、プラクティカルと判断される。

秘

10

(3) 更に、村韓医療援助の
内^{分野として}で、ガンがトッププライオリ
ティをもち、疑問がある。
即ち先進国では既に退去
のものとなりつつある伝染病
寄生虫等が当国ではかなり
重大な村策を必要としてい
る事情があるからである。

(4) 最近韓国政府は専ら事業
として医療の大衆化を推
進^{する}ため、先ず無医村（
全国^{1400市町村あり}約700ヶ村）をなく
すための Community Medicine
の動きが緒についたと伝^{えら}れ、
ソウル大学~~延世大学~~、延世大学



及びカリフォルニア医科大学等が実
験的に地方に医師を派遣し
て、既存の医療施設又は
巡回車を~~効~~利用して有効
に医療を進めようとしてゐる。

かかる動きの如き、医療の
地方への拡充は、~~は~~現下
の当国において最も必要な
ものであり、ガニセナーの如
き計画に巨額の経費をつき
込む事は疑問の余地がある。

(5) 先般要請済のソウル工大援助
と本件ガニセナーの双方を援
助対象とする事は^{わが国政府の立場}道理で
あると考へるので、本便と



12

してはソウル工大に第1プライ
 リティを置いていたにもかかわらず、
 ガンセンターについては、政治
 的動機は別としても、医療
 的プライオリティは低いと考
 える。韓国政府は equal
 priority だと言っているが、
 飯島が韓国政府事務当
 局者^と非公式に話合った所
 ソウル工大の方がプライオリティ
 が高いと言ったも強く反ば
 しておらず、結局日本政府
 が判断して^{首は高い}~~首は高い~~と言っている。

飯島 韓日

◀ Nippon Express ▶

〒12 # 1212 (東京)

キャンセル 8月21日

海外旅行と航空貨物のご相談は

日通航空へ